

鋸南町 町民ワークショップ

第3回

鋸南町の課題解決のための取組を考えよう！

日時：2025年8月9日（土） 10:00～12:00

会場：鋸南町立中央公民館

本日のプログラム

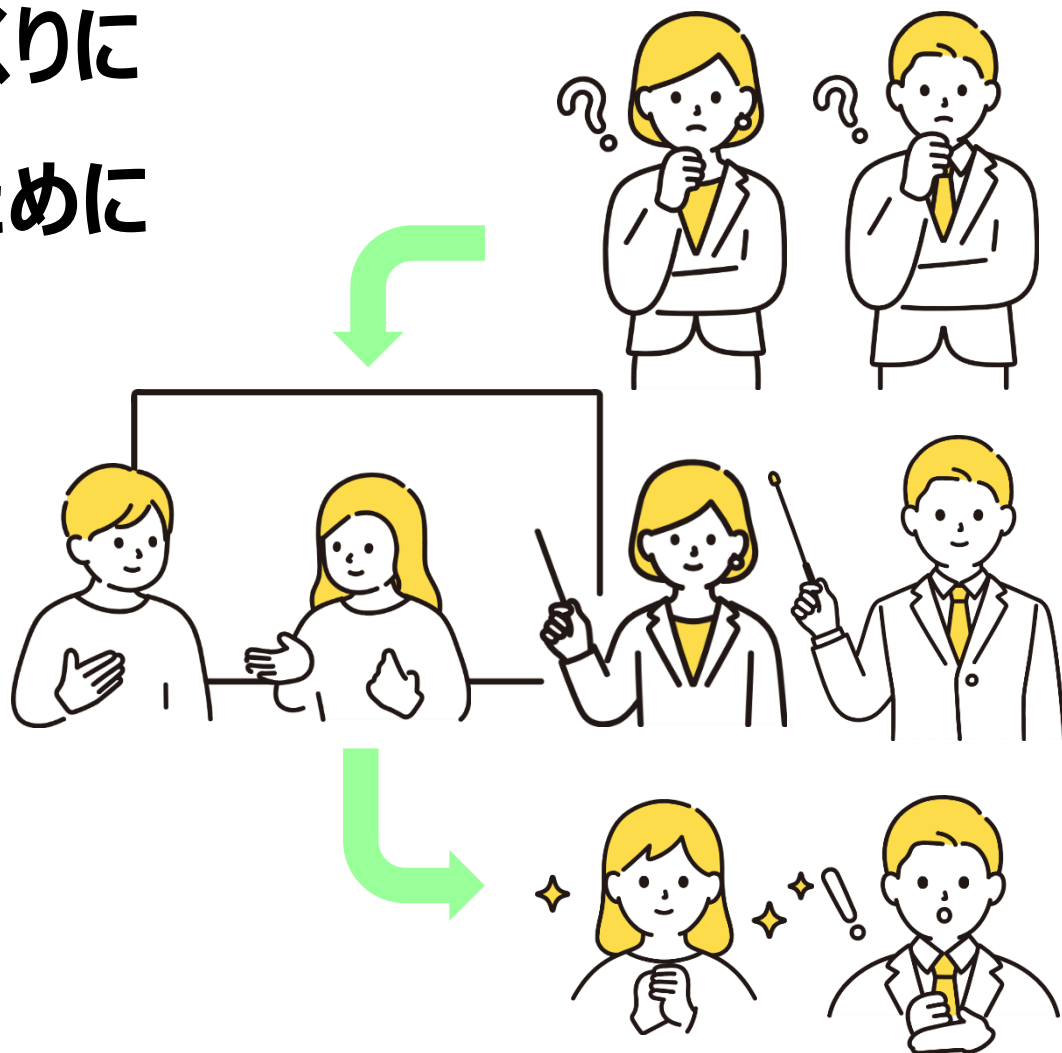
- ① 開会・あいさつ
- ② 全国のまちづくりの先進事例他
- ③ ワークショップの進め方の説明
- ④ ワーキング（個人ワーク：25分 → グループワーク：25分）
- ⑤ 発表（各グループ5分以内でお願いします。）
- ⑥ あいさつ・閉会

→ 全員で写真を撮りましょう！



本日のゴール▶

鋸南町の「今後のまちづくりに
おける課題」を解決するために
求められる取組を、
各自が具体的に考え、
他の参加者と共有する



全国のまちづくりの先進事例

あまちょう

1. 島根県海士町～移住者による起業促進、特産品の開発

・海士町は、1998年度以降「商品開発研修生」として全国から数名の移住者を町の臨時職員の身分で受入れ、島の資源発掘や特産品・観光商品の開発を行っている。

・地域資源を活かした商品開発では、「さざえカレー」や「いわがき春香」、「隠岐牛」など、海士ブランドの特産品を続々と誕生させて外貨獲得につなげている。

・また、2005年に完成した「CAS凍結センター」（第三セクター(株)ふるさと海士が運営）では、CAS(Cells Alive System)と呼ばれる特殊な凍結技術の導入により海産物の鮮度保持が可能となり、CAS凍結した冷凍加工食品は首都圏を中心に海外にまで販路を広げている。特産品の白いか、岩がきなどの水産加工品のほか、「いわがきご飯・さざえご飯」、「フライ類」などの農産加工商品にも力を入れ、産業の発展と新たな雇用を生み出し、海士町新産業創出の一翼を担っている。

・2020年には、大人の島留学（就労型お試し移住制度）の取り組みを開始。滞在期間は3ヵ月～1年で、現在、年間200名程度の社会人や学生が島留学生として島の「職」に携わりながら、自身の役割を見出し、滞在中の仕事や関係性づくりに主体的に参画している。

・地域の担い手不足を解消するため、町職員が職員としての身分を保持したまま勤務時間の一部を利用して、水産・農業・IT関連など職員の興味関心に基づき、地域活性化や地域課題に取り組む「半官半X」制度もある。



「承久海道キンニャモニャセンター」（役場、観光協会や直売所、レストラン等の複合施設）

全国のまちづくりの先進事例

やかげちょう

2. 岡山県矢掛町～自主防災組織の組織率向上、個別避難計画の作成

・矢掛町では、2018年の西日本豪雨で大きな被害を受けたことから、地域の防災力強化に向けた取組が活発であり、2020年から2023年にかけての自主防災組織の組織率が36.4%上昇した（47団体→76団体）。

・2025年の「日本防火・防災協会会長表彰」では全国で16の優良自主防災組織が選ばれたが、矢掛町の城江自主防災会は岡山県内で唯一、同表彰を受賞した。

・城江自主防災会は、各世帯の状況や要支援者、看護師らの有資格者を記した台帳を作成しているほか、地域の民間企業の事業所を一時避難所として利用する協定も締結しており、西日本豪雨の際には迅速な避難態勢をとり、人的被害を防いだ。

・このほか、矢掛町は2022年度からの5年計画で、要支援者に関する個別避難計画作成にも注力している。

・県のモデル事業を活用した同町的美川地区の取組では、地区の自主防災会メンバーや関係する町職員らが参加し、計画作成する対象者（要支援者）について誰がいつ、どのような方法で避難支援するかなど、専門家の助言を受けながら具体化させた。

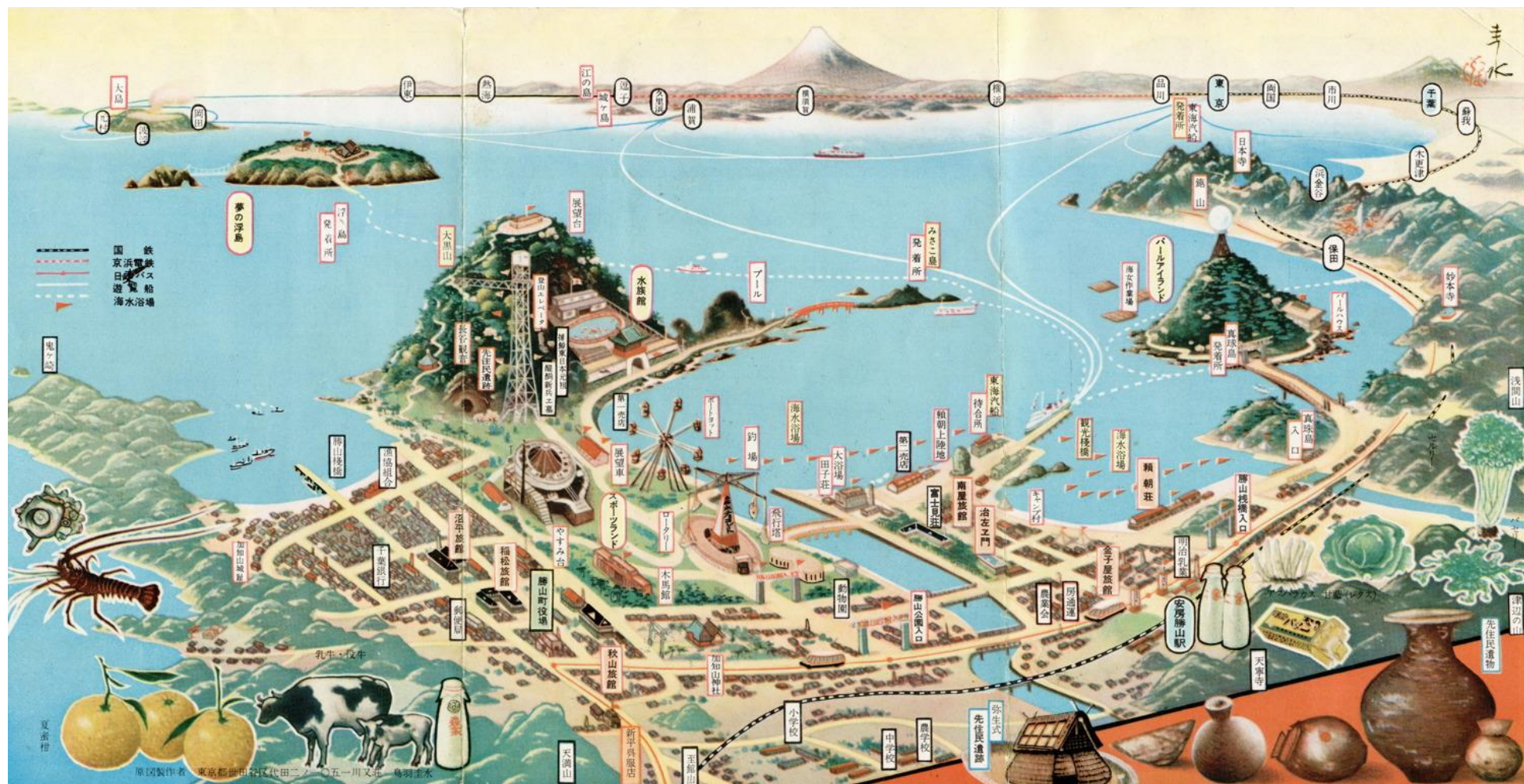
・矢掛町では、美川地区の事例を参考に、他地区での個別避難計画作成を支援している。



城江自主防災会では災害に関する情報共有のため機関紙を創刊（2023年6月）



「海の総合レジャーランド 安房勝山」



昭和28（1953）年頃、勝山町（鋸南町）の大黒山のふもとにさまざまな遊具を備えた勝山遊園地が作られました。付近には海水浴場、水族館、真珠島などの観光施設、大浴場のヘルスセンター、頼朝荘といった宿泊施設が設けられました。桟橋には、東京や神奈川からの船が発着し、多くの観光客で賑わいました。

出典：「千葉県立中央博物館 デジタル・ミュージアム『房総の海の遊び』」～当時の観光パンフレット「房州 勝山」より

鋸南町の子育て・住宅・移住支援制度

子育て中の方へ。

給食費 無料

鋸南町の保育所・幼稚園・小学校・中学校及び特別支援学校に在学している児童・生徒を対象に保護者が負担すべき給食に要する費用を完全無料化。教育課☎0470-55-2120

放課後子ども教室 無料

放課後の子どもの居場所を支援しています。毎月木曜3回、土曜1回、野外ゲーム、絵画、体験教室など地域のサポーターと楽しく過ごす時間を提供します。教育課☎0470-55-2120

病児・病後児保育事業 800円/日

お子様が病気になったとき、仕事が休めないなど突発的にご利用いただける支援です。診察後、医師の判断でお預かりします。勝山クリニックにて実施しています。登録制
保健福祉課☎0470-55-1002

出産・子育て応援給付金 50,000円～

出産・子育て期の孤独感や不安感を解消するため、妊娠時から出産・子育てまでの相談に応じながら、経済的支援を行います。
妊娠時/50,000円
出産時/50,000円(子1人)
保健福祉課☎0470-55-1002

一時保育制度(保育所) 1日2,000円

在宅の乳児・幼児が保護者の急用等で、一時的に家庭での保育が困難な場合、保育所でお預かりする支援です。事前予約が必要です。
1日2,000円、半日1,000円
教育課☎0470-55-2120

一時預かり制度(幼稚園) 無料

保護者が就労等により家庭内で保育ができない未就学児の支援を行います。幼稚園終了から午後6時30分まで(休み:日・祝・お盆・年末年始)
教育課☎0470-55-2120

子育て広場 無料

中央公民館の子育てひろばを無料開放します。小さなお子さんと親の憩いの場の提供をします。毎週木曜の午前は、えいごであそび、工作やリズム体操、読み聞かせなどの子育てイベントを開催。教育課☎0470-55-2120

子ども医療費助成制度 無料

0歳～高校生相当の年齢の方を対象に保険適用の医療費及び調剤費の窓口負担を無料としています。保健福祉課☎0470-55-1002

学童保育制度(小学生) 1ヶ月9,000円

保護者が就労等により、放課後等に家庭内で保育ができない小学生をお預かりする支援です。放課後から午後6時30分まで。(休み:日・祝・お盆、年末年始) 8月のみ14,000円
教育課☎0470-55-2120

住まいのこと、住宅について。

空き家バンク

鋸南町では、人口減少に伴い、年々空き家が増加しています。そんな空き家を活用しようと「空き家バンク」を設け、利用してもらいたい人と、利用したい人とのマッチングを促進しています。



鋸南町空き家バンク
ホームページはこちら

くらしの
サポート

住宅リフォーム補助金制度

この制度は、町内の事業者を利用し、お住いの住宅リフォーム工事を行う方に対して、その費用の一部を補助する制度です。20万円以上(税別)のリフォーム工事に対して10分の1を補助します。補助金の上限は20万円です(200万円の工事費の場合) 詳しくは、鋸南町役場建設水道課建設環境室までお問い合わせ下さい。☎0470-55-2133

住宅取得奨励

町内において新築住宅を建築又は購入し、一定の条件を満たす方を対象として奨励金を交付する住宅取得奨励金交付制度があります。
住宅を取得する方に、最大400万円を交付します。詳しくは、鋸南町役場建設水道課建設環境室までお問い合わせ下さい。☎0470-55-2133

区分 加算等	新築住宅の取得者		中古住宅の取得者	
	50歳未満	50歳以上	50歳未満	50歳以上
基本額	200万円	90万円	80万円	50万円
配偶者加算	60万円	30万円	30万円	20万円
子育て世帯加算 18歳未満1人につき	30万円 (最大3人)	30万円 (最大1人)	30万円 (最大3人)	30万円 (最大1人)
町内建設業者による建設	50万円	50万円	—	—
補助率	1/5	1/5	1/2	1/2
最大補助額	400万円	200万円	200万円	100万円

※子育て世帯は奨励金対象住宅の認定申請(中古住宅の場合は、交付申請)年度の4月1日時点で判断します。

※基準額に該当する加算額を加えた金額と、工事請負契約書または売買契約書の金額(消費税及び地方消費税の額を除く)に補助率を乗じた金額を比較して、少ない額を補助します。

出典:「きょなんで暮らす。きょなんで過ごす。」(鋸南町)

鋸南町の子育て・住宅・移住支援制度

Q 高校へはどうやって通学してるの？

A JR安房勝山駅、JR保田駅から南へ館山方面、北へ君津・木更津方面の内房線電車で通学します。館山へは、約25分、君津へは約60分です。木更津方面の私立高校では、通学バスがある場合が多く、通学時間1時間弱でご家庭の近くでの乗車下車が可能です。



Q 千葉方面への通勤は、どのようなルートがありますか？

A JRで千葉方面へ。君津、木更津で乗り換えです。千葉まで約2時間です。高速バス・路線バスとして千葉県庁・千葉みなと駅方面の毎日運行しています。「ハイウェイオアシス富栄里」からの乗車、千葉まで約1時間です。

Q 東京方面への高速バスが便利と聞きますが、

A JRバス「房総なのはな号」をはじめ、東京湾アクアライン経由の高速バスが、1時間に1本程度往復しています。鋸南町からは、隣接市の「ハイウェイオアシス富栄里」などの停留所が利用できます。町内から車で5分程です。

Q 町内を巡る交通機関はありますか？

A 2時間に1本程度、町内をぐるりと循環する「町営循環バス」が運行しています。5区間まで200円、6区間以上で300円と便利です。

Q 子育て世代としては、子どもの送り迎えの時間などが心配です。

A 鋸南町では、幼稚園・保育所・預かり保育などが1カ所で、小学校、中学校も隣接、近隣にあります。小学校の学童保育は、学校施設で受けますので、便利です。

Q 日常に必要なもの、買い物などは？

A JR安房勝山駅周辺には、ドラッグストアやスーパーがあり、日常生活を支えてくれます。大型ショッピングセンターなどへは、車で、一般道で館山まで約20分、高速道路利用で木更津まで約30分で到着します。

Q 困ったことの相談は、どこへ。

A 困った時は、役場へ相談。ご案内させていただきます。

新生活をされる方へ。

鋸南町奨学生ふるさと定住促進補助金

奨学金の返還支援制度。年間返還額の1/2、最大10万円。大学等卒業後、『若者の鋸南町での暮らし』を応援します！対象となる奨学金を利用して高校や大学等を卒業後、町内に定住するなどの要件を満たす方に最長8年間補助する制度。補助対象となる奨学金は、「鋸南町奨学金」「日本学生支援機構奨学金」「その他奨学金等で町長が認めるもの」。詳細はお電話ください。

※経済的な理由等で修学が困難な高校生、大学生に対し奨学金の貸付制度もあります。

教育課 ☎0470-55-2120

移住支援金 単身600,000円、世帯1,000,000円、子ども加算あり

東京23区内などから町に移住し、かつ千葉県に登録された中小企業等へ就業する方へ支援をします。

地域振興課 ☎0470-55-1560

結婚新生活支援補助金 最大600,000円

結婚新生活を経済的に支援。住宅賃貸費用や引越費用などに対して支援します。

税務住民課 ☎0470-55-2112

通勤通学支援助成金 最大100,000円／年

公共交通機関の定期券を利用して遠距離通勤、通学する方への支援をします。

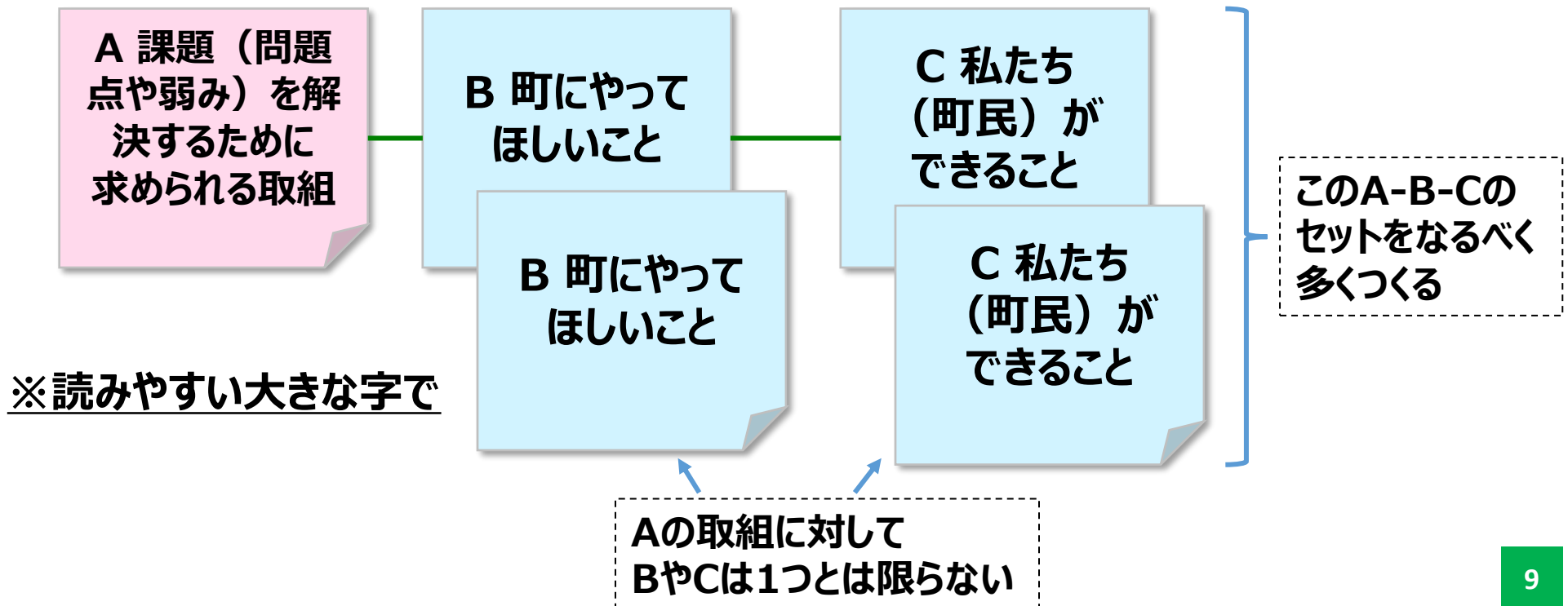
総務企画課 ☎0470-55-4801



ワークショップの進め方

1.個人ワーク（25分）

①各チームの課題について、「A 課題（問題点や弱み）を解決するために求められる取組」（付せんの色：ピンク）、そのために「B 町にやってほしいこと」（付せんの色：水色）と「C 私たち（町民）ができること」（付せんの色：水色）を付せんに記入



ワークショップの進め方

2. グループワーク（25分）

- ① 1人につき、付せんを1セット（A-B-C）ずつ、最も発表したいものから順に読み上げ、模造紙に貼り付ける ※発表の前に、改めてお名前だけ言ってください。
- ② 前の人が貼り付けた付せんと、類似した意見の付せんは近くに貼り付ける
※これを時間がくるまで繰り返す
- ③ 他のメンバーの意見を聞いて、新たに思いついたことを随時付せんに記入して自分の番で発表してもよい
- ④ 11:15（予定）になったら、各自の発表・付せん貼り付け作業は終了
- ⑤ 手元に残った付せんは、同じ分野や類似した意見の付せんの近くに各自で貼り付ける
- ⑥ 類似した意見の付せんを太マジックで囲んだ上で、関連するA、B、Cを線でつなぐ
（11:30まで）

飲み物のご自由にどうぞ！
トイレ休憩等もご自由に。



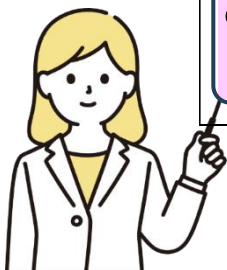
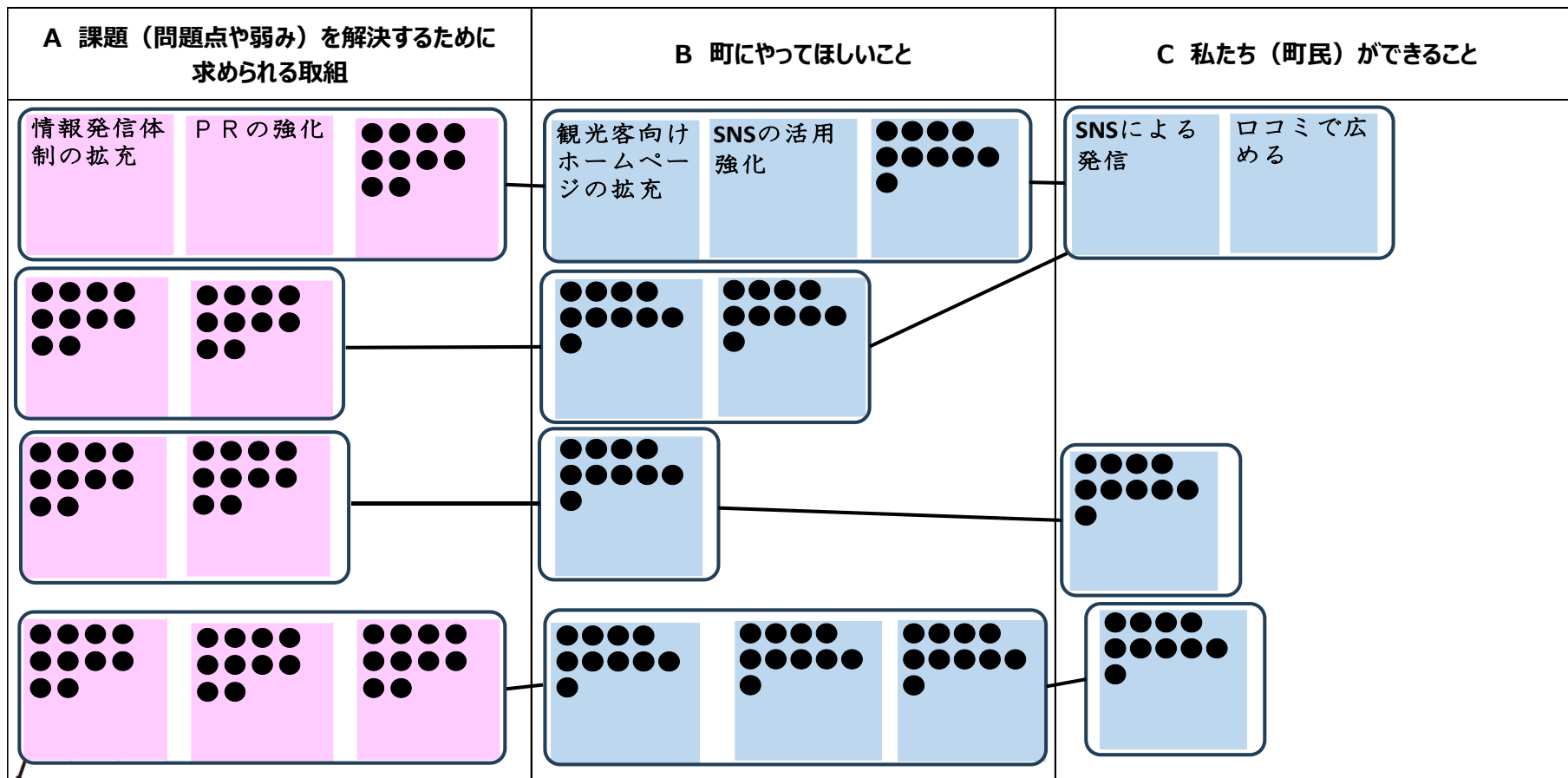
ワークショップの進め方

2. グループワーク

模造紙の完成イメージ

▶ 本日のゴール

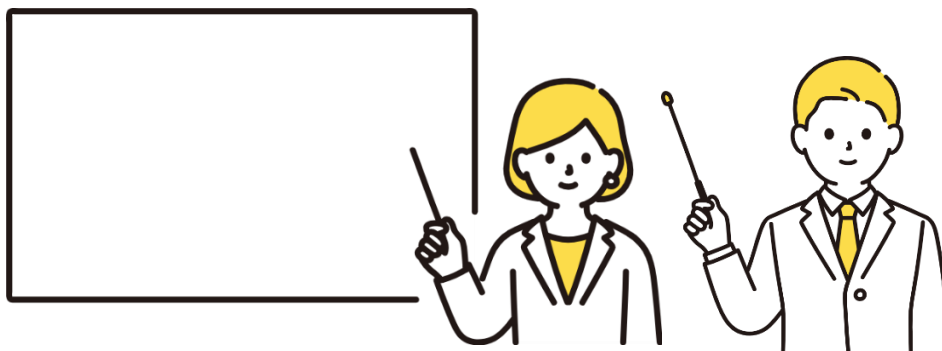
まちづくりの課題：観光の振興



ワークショップの進め方

3.発表

発表は、各チーム5分以内でお願いします。



発表者の決め方

- ① 発表者の決め方は、基本的に自薦としてください。
- ② すべての方が、第1回から第3回までのワークショップの中で、できるだけ1回は発表してください。
(ただし無理強いはいしないようお願いします。)
- ③ 発表者は複数でも結構です。
- ④ 立候補者がいない場合は、あみだくじで決めさせていただきます。
(すでに発表したことがある方は除きます。)

ワークショップの進め方

4.ワークショップのルール（再掲）

①カードや模造紙等は読みやすい字で

ほかの人がわかるように、カードや付せん、模造紙は読みやすい大きな字で書きましょう！

②「質」より「量」

作成するカードや付せんは、1つずつ時間をかけて吟味するよりも、「量（数）」を増やしましょう！

③どんどん便乗

ほかの人の意見にはどんどん便乗して、発想を広げましょう！ 意見が重なってもOK！

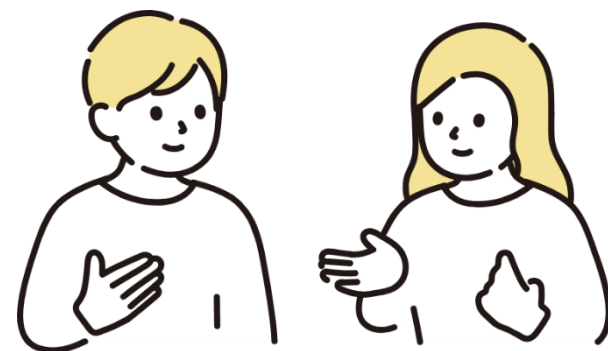
④質問しても否定はしない

わからないことは発案者に質問しましょう！

ただし、考えを否定するのはNG。お互いの意見を尊重しましょう！

⑤話し過ぎない

1人の人が話し過ぎないようにしましょう！



鋸南町 町民ワークショップ

第3回 鋸南町の課題解決のための取組を考えよう！

終了

ありがとうございました。

